



白い道路と町並み



竹富町には、古来より先人たちによって築き守られてきた南国特有の集落があり、琉球石灰岩を積み上げた石垣と白い道、赤い屋根瓦の民家が情緒ある景観を形成している。

この白い道路と町並みの整備事業は、自然の土と砂に白セメントを添加して行う町道整備、並木の植栽、赤瓦使用者への補助、琉球石灰岩を使用する石垣塀の普及指導を主体として行い、こうした素朴な景観が黒島地区に残されており、やすらぎやのどかさが実感できるふるさが今なお守り継がれている。

また、地域の人々は語らいや生活の場でもある道の大切さを認識しており、祭りの場としても使われているほか、老人クラブによって朝夕の清掃も行われている。

DATA・BOARD 60



- ① 沖縄県八重山郡竹富町黒島
- ② 延長2,793m, 幅員7m
- ④ 琉球石灰岩ほか
- ⑤ 旧正月の綱引き・世願い・巻踊りなど、結願祭、豊年祭